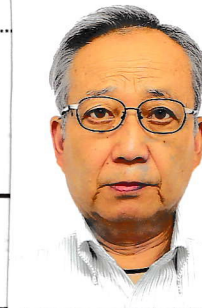


※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

No. 31

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	トヨシマ ミツオ
氏名	豊嶋 充男
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> ( <input checked="" type="checkbox"/> )



支援専門分野（注1）	支援専門分野の内容
ルール又は プランづくり等	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域まちづくりプラ</li> <li>地区計画 建築協定 景観計画 景観協定</li> <li>まち普請事業</li> <li>その他地域のまちづくりに関する計画</li> </ul>
市街地開発事業等	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業</li> <li>市街地再開発事業</li> </ul>
防災まちづくり等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市の制度を活用した地震火災対策</li> <li>防災マップの作成・活用</li> <li>多世代向け防災イベントの企画・運営</li> <li>密集市街地の改善</li> </ul>
その他 得意とする分野 （複数選択可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）</li> <li>防犯</li> <li>水・緑・環境</li> <li>歴史・文化・アート</li> <li>空き家・空き地の利活用</li> <li>商店街活性化</li> <li>狭あい道路整備</li> <li>耐震改修</li> <li>共同建替</li> <li>コミュニティの再生</li> <li>地域の活動拠点運営</li> <li>地域公共交通</li> <li>ICT・WEBの活用</li> <li>その他（ ）</li> </ul>

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	市街地再開発事業	金沢文庫東口	(派遣期間) H22.01～ H23.03 (その他期間) ～R6.03	既再開発事業等都市計画決定済の区域での、現状法規及び事業環境下における施設計画案及び資金計画について検討資料を基に、市街地再開発事業の事業化が地権者にとって最善の方策ではないことを提案 市街地再開発事業の都市計画を見直し、地区計画として、商店街の特性を活かした、街並み誘導型地区計画を定めることを提案 年間の会合議題や準備組合理事会等の資料や議事録作成方法について提案
地域まちづくりプラン、商店街活性化	関内・関外・港町地区都市計画協議会地域まちづくり活動支援	2016～2018	主に市庁舎移転後の伊勢佐木町商店街の活性化に向けて、商店街のアクションプラン等を地元協議会と検討 ・視察会の実施 ・シンポジウムの実施 ・実証実験の実施 等	

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	地域まちづくりプラン、地区計画、市街地再開発事業	長津田駅北口地区	1997～2012	駅前という立地条件を踏まえ、市営住宅跡地の土地利用転換と土地の有効活用・高度利用を図るため、既決定の都市計画道路（駅広含む）の整備と合わせ一体的に施設建築物整備の誘導を図るため、地区計画を定め、地権者の生活再建と駅前の顔づくりに資する市街地再開発事業の事業化を支援した。
	地域まちづくりプラン、商店街活性化、市街地再開発事業	武蔵小山駅前商店街振興組合、その周辺を含む市街地再開発準備組合	2015～現在	武蔵小山駅前パルム商店街での商店街の賑わい再生を目指したまちづくりであり、区の街並み誘導指針の拡充を図り、併せて東京都の条例に基づく制度での「まちづくり再生地区・再生方針」を定め、市街地再開発事業でのまちづくりの環境整理を行い、併せて商店街組織と再開発組織との協働でのまちづくりを目指して活動している。再開発事業の準備組合の事業コンサルタント及び商店街組織のアドバイザー等の役割を担っている。
	市街地再開発事業	品川区北品川五丁目第1地区	2014.12～2020.03	市街地再開発組合設立認可申請に関わる業務、権利変換計画認可申請に関わる業務、及び会合支援、特定業務代行者選定に関わる業務、補助金対応等及び工事完了、清算及び解散・結了手続きに関わる業務を行った。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

【コーディネーターは架橋】

コーディネーターは、まちの将来像を地権者等と共有しながら、専門知識・経験を活かして、地元活動等を支援することが必要であり、決してまちづくりの主役になってはならない。

地権者と行政等との架橋となって、事業推進の方策等を提案していく役割を担うものと考えている。

【商店街活性化】

市街地再開発事業やまちづくりプラン・ルールを定める目的の一つとして、商店街の活性化が含まれることが多い。そのため、係りを持つ機会が多い。

活性化方策として、直ぐに箱作り(建物を新たに整備する)に結びつけるのではなく、「まちの運営」(商店会等活動ではなく、まちを全体的にマネジメントできる専門化集団を擁した活動)を前提とすることが必要になってきていると考えている。

【まちづくりは協働して・・・】

広い範囲でのまちづくりの目標や方針(プラン)があって、その中の限られた区域でのプラン達成のための方策があると考えている。そのためにも、その街に住まう人たちと一緒に将来のまちの運営も視野に入れた、まちづくり(目標や方針及び実現化方策等)を考えていくことが望まれる。